



**仕事:求人** 梨園での農作業 通年を通して仕事はあります。

園主:梶原恒規(60代) 住所:四街道市大日 1075-2 梨園面積:約 1.2 ヘクタール  
 作業内容:(概略です)  
 3月中旬まで剪定作業(現在剪定の残りは、0.7~0.8ヘクタールあります)  
 3月下旬~4月中旬花粉交配作業  
 5月摘果作業  
 8月中旬~10月初頭収穫作業等



連絡先:認定特定非営利活動法人  
 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ  
 電話:043-303-1688(風間・鍋嶋)

**本の紹介** 放射能測定マップ+読み解き集



調査期間6年間の集大成ついに書籍化!  
 「図説」17都県放射能測定マップ+読み解き集  
 好評販売中  
 購入はこちら

各地の放射能測定ネットワーク「みんなのデータサイト」が、調査期間約3年間、17都県にわたり自分たちの手で採取・測定を行い、3,400ヶ所を超える採取地点の詳細な放射能汚染地図を完成させました。

購入方法  
 ①インターネットが見られる方  
<https://minnanods.net/map-book/>  
 ②書店で買いたい方  
 全国の書店で在庫あり、または注文できます。  
 ③郵便局備え付けの振込用紙にてお申込みの方  
 振込先口座記号番号 00100-7-729477  
 口座名称(漢字)みんなのデータサイト運営委員会  
 口座名称(カナ)ミンナノデータサイトウンエイインカイ  
 振込み用紙に「マップ集希望」の旨と、冊数、お名前、住所、電話番号を書いて、規定の手数料(1冊400円、2冊510円、3冊以上は相談)を添えてお申し込みください

仕様:A4版 フルカラー200ページ  
 2,500円(税込) ISBN 978-4-9910427-0-6  
 みんなのデータサイト出版  
 電話 024-573-5697

東北と千葉の出逢いが広がりますよう

エンジョイ  
**縁 joy**  
 Vol.61 H31.4.1



発行:認定特定非営利活動法人  
 ちば市民活動・市民事業サポートクラブ  
 連絡先:〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12  
 ☎043-303-1688  
 E-mail npo-club@par.odn.ne.jp  
 発行部数:2,500部  
 福島県から千葉県へ避難されている方の数:2,257名  
 (H31, 2/7 現在)

**開催報告** 忘れない東日本大震災—あれから8年



展示期間:平成31年3月5日(火)~3月11日(月)  
 展示場所:そごう千葉店 地下フォトギャラリー(本館⇄別館連絡通路)  
 展示内容:福島県内の震災当時の写真と復興に向かう写真データで見る「復興のあゆみ」(福島県提供)パネル  
 千葉県旭市の震災時の写真、  
 千葉県内の支援団体活動紹介(5団体)パネル

写真展で「活動紹介」を展示した団体からのメッセージ(抜粋)を紹介します

・東日本大震災から8年が経ちました。この8年の間にも全国各地で多くの災害が起こり、記憶が少しずつ薄れる中、今回参加することで、当時の支援活動を思い出しました。被災された方、支援する方、たくさんの方々にご協力いただき、ボランティアバスを運行することができました。被災地の衝撃的な風景、被災者からのありがたい言葉、今でも心に残っています。さらなる復興をお祈りします。  
 (千葉市社会福祉協議会)

・パネル作業をしながら、ボランティア先で出会った被災者の方々や子どもたちの笑顔を思い出し、活動してきて良かったと改めて感じることができました。同時に、来年の活動をどうしていこうかと考えるきっかけにもなりました。被災者の方々や現地の子どもたちとの交流を通して、心の支援の大切さにも気づかされました。私たち学生に出来ることは何なのか、これからも考え活動していきたいと思いました。  
 (千葉大学ボランティア支援学生スタッフ)

・私にも何か出来ないものか?..その年の6月に岩手県の現場に向かったのがボランティア活動の始まりです。壊滅状態の「県立高田高校」校舎を見て胸が痛くなり呼吸が止まるのかと感じました。あらゆる物が、廊下、階段から通路へ、窓から裏山に押し出されていました。あれから陸前高田広田湾にある漁港へ通い続けて8年間で100回を越えました。「忘れない・伝えたい・風化させない」活動は今後も継続して行きます。  
 (千葉ふなボランティアネットワーク)

・たくさんの思い出の中から、どの写真を選ぶかワイワイガヤガヤ、お茶っこカフェの中はいつもより大賑わい。もうふるさと福島へ帰られた方々のことを思い、キャプションをスタッフで考えました。お茶っこカフェがあるから頑張れた!という声を聞かせてもらい、私たちもまた元気をもらうことができました。  
 (わかばお茶っこしよう会)

・私たち大学生にとって震災当時は小学生でした。当時は何もできず、また遠い場所での出来事だと思っていました。今、改めて震災の現状を知り、風化させてはいけないと思いパネル展示に参加しました。東北に興味を持っていただき、現地に足を運んでいただきたいと思います。SNSなどで観光の様子や食べたものなど情報を発信することで、被災地を応援すると同時に、震災について常に忘れずに、今後の災害に備えて準備を怠らないという意識を持つことが大切だと感じました。もちろん、私たちも東北に行きます!  
 (千葉商科大学人間社会学部)

身体と心の小ネタ 第四十五便

春を数える

春の訪れとともに、“うららかな”“のどか”“フレッシュ”といった心地のよい響きの言葉がセットで用いられがちですが、皆さまのこのころの様子はいかがでしょうか。

もし、気温の変動や生活環境の変化で、気もそぞろでしたら、平静さを取り戻す手段があると良いですね。心が穏やかになるイメージを用いたり、数を数える手法は、比較的よく用いられますが、両方を使ってみるのも良いかもしれません。

皆さんは、春といえば何が思い浮かびますか? 桜、菜の花、タケノコ、つくし、うぐいす、蝶々、新人生...etc.

出会った“春”を反芻しながら、その数をゆっくり数えて、その日一日を振り返ってみるのはいかがでしょう。

さてさて、明日はいくつの春に出逢えるのでしょうか。数を通じて春を意識しやすくなり、ここを落ち着かせる一助となってくれるかもしれません。

一般社団法人 千葉県臨床心理士会

情報紙「縁 joy」は、福島県県外避難者帰還・生活再建支援事業として東日本大震災で被災し、千葉県内で暮らす皆様の不安や悲しみが少しでも軽減されるようそして、被災者に対しての理解が広まることを願って作成・発行しています。